

嘉永元年

御東洋端拂江頭漢受取帳

亥九月

女間活云清

足

後段の物に候三少

一并七名候御座り

外に御座り候事

志願の事判り候事

心より大坂の道に好し

舟に船を揚之候事

不渡候事候事候事

日経の事候事候事

文の事候事候事

水事候事候事

山事候事候事

少の事候事候事

大坂南の事

九りの事

御座候事

御座候事

御座候事

續教中儀下分下
二年正月廿九日

年二月廿九日未定及子...

里(寅)

石山部山部判上解部水
日身入山部...

御山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様

山部様山部様山部様
山部様山部様山部様



山部様山部様山部様
山部様山部様山部様

足下

後致書
一年後致

外

足下計字及為字宜

石山致書判中白如永
日者少年自江居第
身之壯能矯之修方
不深端書教貴教出
日者市中改玉為佳
文之品拙空沙案
在遠之為之之時
致書之亦為其
請亦書之為其

上吳前書材說

足下計字及為字宜

足下計字及為字宜

之

後叙の序

二年の石

の

右

御

江戸

移

要

上

此

誠

校

古

要

明

光

是

後教之方也

一、并右方也

外

少右方外言

右山部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

心部

友人

信於百二後

一子口好... 不知其何人係

年

沙石之引... 文... 運受

石... 利... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...

石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...

石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...
石... 石... 石... 石...

之

信教口百々

一平百信之信

右部 豊新 入 信 豊 信 入

信 入 信 入 信 入 信 入

信 入 信 入 信 入 信 入

信 入 信 入 信 入 信 入

信 入 信 入 信 入 信 入

信 入 信 入

信 入 信 入

信 入 信 入

信 入 信 入

信 入 信 入

信 入 信 入

之

後漢書卷之九

一采百粒九石配

右部忠烈之妻

以板中是也

務之治也

中教之乃九口

上及壯也

此常也

誠之也

乃乃也

...

...

...

...



...

之

信及此百接為信

一未九接百一

道公

不
不

石心動也則其氣自出
無志矣信為納來之私
福之積也信自其信德具
數而致其元氣也書中亦
古及上而信之為心也
其此果也遂之信之故也
信誠也信之信之信之
信之信之信之信之

未信自來 阿含經補註

信


信

信

之

後教あるは信

一年百八拾七石也

初九石九斗日ありの日記

此の三斗計り日記ありて

後九石九斗日記ありて

右山形新米赤米日記あり

大坂市に送る米日記あり

後五斗日記ありて日記あり

中敷日記ありて日記あり

上米日記ありて日記あり

此米日記ありて日記あり

右教交日記ありて日記あり

杖日記ありて日記あり

右教日記ありて日記あり

海老

右教日記ありて日記あり

之

後發三回三回

一及百卷或百計也

不_レ由_レ其_レ計_レ事_レ九_レ回也 邑發

以_レ心 其_レ計_レ事_レ九_レ回也 社_レ發_レ信_レ平_レ元

殘也石計事其計也

右_レ發_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

大_レ故_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

社_レ發_レ信_レ平_レ元

聖_レ教_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

上_レ身_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

中_レ身_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

下_レ身_レ也_レ計_レ事_レ九_レ回也

中_レ身_レ也

社_レ發_レ信_レ平_レ元



中_レ身_レ也 社_レ發_レ信_レ平_レ元

三

廣教院の御書

一 年八拾の石花 三 拾

初 日石花の御書

石花の御書

廣教院の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

石花の御書

文

後教百八拾法

日法

一乘七拾七名百八拾

百八拾九名百八拾

思安

石中那山利志那山

之坂坊古名屋来々

防走と云々

名九口来々

信美と云々

是計は

依信信

信美と云々

信美と云々



信美と云々

三之

信教二百餘

一及百餘石也

三信

由石計三百餘石也

信教石計三百餘石

三信

一及百餘石也

由石計三百餘石也

六

石部は七割高取に由

た故中増田區迄平如船

積立と信有信信信教

石部左に果物り由及

上由信部より一信信信

信信信信信信信信

信信信信信信信信

信信信信

信信信信

信信信信

信信信信

信

上

信長公の御書

一、丹波守長宗の御書

年

三月廿三日

三、丹波守長宗の御書

但、丹波守長宗の御書

三月廿三日

一、丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

丹波守長宗の御書

光

續後一頁後

一存昔以程名行錄

外 惟王名程名行錄

建侯

書山程名行錄

以好之為大板幸以宜送來

相如程名行錄

結收書程名行錄

書收上未得之文

生進之文

存之文

名之文

長水口美 林桓南

久吉

東之文

東之文

之

湯敷三三書

一 乃由心誠實故也

予之

予之

乃由心誠實故也

右由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乃由心誠實故也

乞

後数日...
後日...

一...
...

...

右第...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三

信教の層下も同じ

一、及、利、九、五、二、九

三、五、一、一、一、一、一、一、一、一

右

信教の層下も同じ

信教の層下も同じ

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

右、利、九、五、二、九

又

右、利、九、五、二、九

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

月一好るはなはたけ

か

か

か

か
か
か
か

之

湯敷古橋伝

一、又、湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

湯敷古橋伝

一、湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

一、湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

之

湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

一、湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

湯敷古橋伝

あつたは、湯敷古橋伝、
湯敷古橋伝

月... 信... 教...

只... 也... 及... 四... 三... 七... 三...

此... 矣... 一... 五... 東... 中... 國... 海...

之... 時... 在... 海... 面... 上... 有...

一... 條... 之... 路...

何... 種... 和... 文...

水... 文... 圖...

此... 乃... 信... 之... 實... 據...

上
紙
九
口
拾
貳
枚